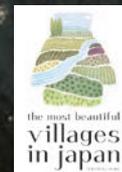


～柏木城跡が国文化財指定の答申を受けました～

令和3年12月17日、大塩にある「柏木城跡」が、国の文化財指定の答申を受けました。
答申に至るまで、地権者や地元の方々、関係する多くの皆様に多大なご理解とご協力をいただきました。深く感謝申し上げます。(P11に詳細掲載)
写真:中央の山が雲海に浮かぶ柏木城跡。八丁壇一里塚付近にて撮影

今月の内容

- | | | | |
|------|----------------|--------|-------------------------------|
| P2～3 | 新年村長あいさつ | P10～11 | 生涯学習だより |
| P4～5 | きたしおぼらトピックス | P12 | 健康通信 |
| P6 | 地域おこし協力隊コラム | P13 | 裏磐梯診療所からのお知らせ
食改さんのお役立ちレシピ |
| P7 | 税について考える | P14～15 | お知らせ |
| P8 | 子育て世帯への臨時特別給付金 | P16 | ジオパーク通信・自然コラム |
| P9 | ごみ問題を考える | | |



北塩原村は
「日本で最も美しい村」連合と
「日本ジオパークネットワーク」に
加盟しています。





「みんなで考え・みんなで前へ」
自然・文化・人を活かすワンチームのむらづくり

北塩原村長

遠藤 和夫

明けましておめでとうございます。村民の皆様におかれましては、新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。また、村政の運営に、深いご理解と温かいご支援を賜っておりますこと厚く御礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症が収束に至らず、私たちの暮らしへの影響が長期化しました。

村では村民の皆さまの安全・安心を守るため、新型コロナウイルスワクチン接種の体制確保に努め、これまで接種対象者の約90パーセントが2回のワクチン接種を終えることができました。オミクロン変異株の脅威など予断を許さない状況ではありますが、少しずつコロナ禍前の生活が取り戻せるよう、引き続き必要な対策に努めてまいります。

また、東日本大震災から10年の節目の年に、「復興五輪」と位置付けられた東京オリンピック・パラリンピック大会が開催されました。アスリートの活躍から大きな感動をいたたくとともに、新型コロナウイルスとの共生の在り方を模索する機会でもありました。

当村においても、「復興ありがとうホストタウン」として台湾との交流の促進、会津山塩の薪窯の火をパラリンピックの聖火に送り出すなど、大会の一端を担うことができました。



▲パラリンピック聖火種火起こし

さて、明るい話題として、平成20年度より調査を行っていた大塩にある「柏木城跡」が国の文化審議会の答申を受け、村で初めてとなる国指定史跡に向けた展望が広がっております。長年の努力が結実したことは非常に喜ばしく、これもひとえに、地権者や地元の方々、関係する多くの皆様のご支援とご協力の賜物であります。心より御礼申し上げます。引き続き、史跡の保存と活用に努め、貴重な歴史資産を次世代に継承していく所存です。

防災では、裏磐梯旅館組合の協力により「北塩原村災害時等における宿泊施設の提供等に関する協定」を締結いたしました。災害時に、高齢者や妊婦など特段の配慮が必要な方々が入浴や食事、分散避難も図れるなど、大きな安心を確保することができました。

また11月には「交通死亡事故ゼロ」

2千日を達成し、安全な村をアピールできました。

スポーツでは、11月に開催されたふくしま駅伝において、北塩原村チームが総合26位という好成績を収めました。選手たちが懸命に走る姿に、勇気と感動をいただきました。



▲好成績を収めた村駅伝チーム

また、1月2、3日に行われた箱根駅伝に、長年にわたり当村で合宿を行っていた東洋大学、駿河台大学が

出場いたしました。東洋大学が4位、駿河台大学も初出場ながら19位と健闘しました。

蛇平地区に整備を進めていた裏磐梯多目的グラウンドも完成しましたので、今後も多くのスポーツチームが当村へ合宿に訪れていただけるよう、環境整備を進めてまいります。

二〇二二年は選ばれる北塩原村を目指して、産業の振興や人口減少対策、村民生活の向上に全力で取り組んでまいります。

【商工観光業】

ポストコロナに向けた観光経済再生のため、「ワーケーション」を核として裏磐梯が有するポテンシャルを活かした観光誘客を推進します。また、ふくしまグリーン復興構想や国立公園満喫プロジェクトなど国県と連携した観光振興、国立公園施設整備を進め、滞在型観光により地域全体に経済効果が波及するよう取り組んでまいります。

【農林漁業】

会津盆地に広がる田園風景や豊かな農地を守るため、日本型直接支払制度の促進や有害鳥獣対策など営農環境向上を図ってまいります。また、農産物の直売や飲食、移動

販売や生活用品の販売を行う「村の駅」の新規事業化に向けて取り組んでまいります。冬の観光の柱のひとつであるワカザキ釣りのための環境整備も進めてまいります。

【子育て・教育】

松原・裏磐梯地区における乳幼児保育環境の整備を行い、安心して子育てのできる環境を構築してまいります。また、GIGAスクール構想に基づくタブレット端末を活用したICT教育の促進や学校給食無償化など、継続的な学習支援に取り組んでまいります。

【人口減少対策】

裏磐梯地区の住宅整備を行い、若者世代・子育て世代の移住・定住を促進してまいります。また、空き家を活用した体験住宅や魅力的な生活環境の整備、定住自立圏域との連携によるPRを図り、人口減少に歯止めをかけてまいります。

【防災・減災】

村民生活の安全と安心のため、移動系防災無線の整備による災害時の通信手段の確保や地域一体防災体制の整備など、頻発化・激甚化する災害に備えるとともに、事前防災・減災に向けた安全対策をさらに強

化してまいります。

【健康と福祉】

新型コロナウイルスから村民の皆様を守るため、ワクチンの接種体制の確保や検査体制の充実など、国県と連携しながら機動的に進めてまいります。また、人生100年時代を見据え、高齢者の健康づくりを主とする保健事業を介護予防と一体的に行うとともに、公共交通など生活の足を確保して、子どもからお年寄りまで、安心して暮らせる村づくりに取り組んでまいります。

【行財政】

納税の公平・公正の視点にたち、滞納額の解消を推し進めます。また、自然エネルギーの導入可能性や公共施設の見直しなどによる財政支出の縮減など、健全な財政運営に努めてまいります。

本村のさらなる発展のため、「北塩原村はワンチーム」「みんなで考え・みんなで前へ」を旗印として、自然・文化・人を活かすことを掲げ、未来を見据えた村政運営を行ってまいりますので、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

本年も皆様にとりまして幸せ多き年になりますよう心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。



12月1日(水) 裏磐梯中学校 村長・教育長との「対話集会」を開催

裏磐梯中学校の3年生9名は、総合学習において、中学生の視点から村づくりを考えました。

生活と行政の関わりや村が直面する様々な課題を調査し、12月1日、同中学校において遠藤村長と鈴木教育長に学習の成果を伝えました。

生徒達からは、「村の医療や福祉を充実させるための人材育成」や「ワーケーションと合わせた新しい教育のあり方を考えてほしい」等の提言がありました。

学習の成果を発表する生徒▶



12月14日(火) 会津地区食生活改善推進連絡協議会長表彰受賞

村食生活改善推進員の五十嵐サト子さん(大久保)は12月14日、会津稽古堂で行われた会津地区食生活改善推進連絡協議会長表彰授与式で会長表彰を受賞されました。

表彰式では、同協議会の真下会長より、本年度の会長表彰を受賞した6団体14名に表彰状が送られました。

五十嵐さんは12年間、村食生活改善推進員として村民の食生活の改善や向上、健康増進に貢献され、その長年にわたる功績が認められての受賞となりました。受賞、おめでとうございます。



▲会長表彰を受賞した五十嵐サト子さん

12月16日(木) 裏磐梯ジュニアバドミントンクラブ全国大会出場

裏磐梯ジュニアバドミントンクラブの柁木冬磨選手(裏磐梯小6年)と佐藤大悟選手(同小6年)、柁木湖音選手(同小4年)の3名が、第30回全国小学生バドミントン選手権に出場することとなり、12月16日、遠藤村長に出場報告を行いました。

3人は、9月に猪苗代町で開催された県小学生バドミントン選手権大会に出場し、冬磨選手が6年生以下男子シングルで3位、大悟選手と湖音選手が同男子ダブルスで3位の成績を収め、全国大会の切符を手にしました。

主将の冬磨選手は、「もっと練習して強くなり、一つでも多く勝てるようにしたい」と意気込みを語り、遠藤村長から「村から選手が全国大会に出場することは誇りであり、悔いのない試合をしてほしい」とエールが送られました。

左前から冬磨選手、湖音選手、大悟選手▶



12月20日(月) 福島県多面的機能支払交付金優良表彰

村では、11の集落が協定を締結し、広域協定により農地保全活動を行っています。

村広域協定(会長武藤吉博氏)は、県多面的機能支払推進協議会より「優秀賞」を受賞しました。

表彰式は12月20日に福島県土地改良会館で行われ、武藤会長は「この受賞を糧に更なる農業農村の発展に努めたい」と抱負を述べました。

村広域協定は、村内の青年団体や東京農業大学生を地域活動に呼び込み、農業を通じた関係人口の拡大に努めている点、刈払機の安全衛生教育を実施し、安全管理に対する意識を高めている点が特に評価されました。



▲受賞した武藤吉博会長(左)と高畑忠弘事務局長(右)

12月21日(火) 「食育推進連絡部会」を開催

村における総合的な食育の推進を図るため、「食育推進連絡部会」を開催し、保育・教育・農林・保健福祉等の分野から委嘱された6名の委員等が、取組状況や課題等について協議しました。

会議で山本壽美子会長は、「生涯にわたり健康な生活を送るためには、一人一人が自らの食生活を考え、食事の楽しさや大切さを感じることに加え、家庭、学校、地域、事業者が連携して「食育」に取り組むことが必要だ。」と述べ、各年代に応じた食育推進の方策について話し合いました。



▲食育推進について協議する委員

12月22日(水) 「いのちを守る対策連絡部会」を開催

村におけるいのちを守る対策計画の包括的推進を目的とした、「北塩原村いのちを守る対策連絡部会」を開催しました。会議では医療・教育・商工・産業・保健福祉分野の様々な機関から委嘱された5名の委員等が、現状や課題等について情報を共有し、協議しました。

委員からは、親身になって話を聞く場をつくることの重要性や、自己存在感を高めながら各事業に取り組んでいることなどについて報告がなされました。

今後もネットワークを強化しながら、取り組みを推進してまいります。



▲現状や課題等について協議する委員

1月4日(火) 初顔合わせ2022

村コミュニティセンターホールにおいて、初顔合わせ2022を開催しました。

2年ぶりの開催で関係者98名が出席し、今年の飛躍を誓いました。

遠藤村長は、「本年は、選ばれる北塩原村を目指して、みんなで考え、みんなで前へを旗印に、産業の振興や人口減少対策、村民生活の向上に全力で取り組んでまいります。」と年頭の挨拶を述べました。

感染症対策のため時間短縮での開催となりましたが、出席者は今年一年の抱負や目標について語り合いました。



▲新年を祝うくす玉割

1月6日(木) 消防団出初め式

村消防団出初め式が行われ、消防団員及び女性消防隊合わせて約60名が参加しました。役場本庁舎周辺で、閲団式及び分列行進を行い、寒さの中でも凛とした姿で日頃の訓練の成果を披露しました。

続いて村民体育館で式典が行われ、大橋健一消防団長が「公助・互助・自助それぞれの中核となるのは消防団員であるため、任務を再確認し、いかなる時にも対応できるよう万全を期してください。」と訓示し、日々の消防団活動への感謝と消防団及び女性消防隊の更なる活躍と地域の連携強化に期待を寄せました。



▲閲団式の様子

遠藤さん(第一中)が福島地方法務局若松支局長賞受賞

～全国中学人権作文コンテスト～

12月23日、第40回全国中学人権作文コンテスト表彰状及び人権擁護局長感謝状伝達式が第一中学校で行われ、村人権擁護委員の内海英男さんと鈴木由利子さんから受賞者に表彰状などが手渡されました。

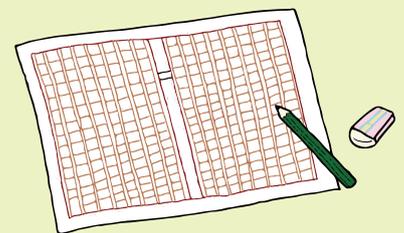
作文コンテストでは1年遠藤友貴さんが“福島地方法務局若松支局長賞”を受賞しました。(会津管内での応募総数947編中18編が入賞)

また、作文コンテストに応募する数が多く、比率が高い学校に贈られる“法務省人権擁護局感謝状”に第一中学校が選ばれ、生徒を代表して2年須藤寛紀さんが受領しました。(会津管内では5校が受領)

人権という難しいテーマに、一人ひとりが真剣に命に向き合い、作文を書き上げた生徒の皆さんの努力の賜物です。おめでとうございます。



◀前列中央左から
鈴木由利子さん、遠藤友貴さん、
須藤寛紀さん、内海英男さん



きたしおぼろから 魅力発信!



Monthly Reporter

友坂 優毅
ともさか ゆうき



北塩原村
地域おこし協力隊
Facebookで検索!
<https://www.facebook.com/vill.kitashiobara.okoshi/>



皆さんこんにちは!地域おこし協力隊の友坂です。

皆さんは“たむけん”こと たむらけんじ さんをご存じですか?大阪のお笑い芸人でひと昔前は獅子舞片手に、サングラスと特徴的な前髪が印象的な恰好をしていた芸人さんです。

そのたむけんさんが大阪ローカルテレビの番組で村に遊びに来てくれました!そして、縁あって私が村内の案内人役として関わらせてもらいました。温泉やラーメン・五色沼など全国放送ではなかったものの、関西の方々には大いに村の魅力を伝えられたのではないかと思います!(放送後、観光協会に問い合わせがあったとの事!)

五色沼湖沼群を歩いている際、植林の話をして『自然を壊すのも人間やけど、自然を復活させるのもまた人間なんやなあ・・・』っとポツリ。人間の愚かさや偉大さを感じた一言でした。

後日、中学生と同じ場所を歩き、ネタにと思って話したら・・・たむけんさんの事を知りませんでした(笑)



▲たむらけんじさん(左)と友坂隊員(右)



▲五色沼を案内

税について考える

Vol.2

納税の義務

国民の納税は憲法で義務づけられています。

日本国憲法第30条 「国民は、法律の定めるところにより、納税の義務を負ふ。」

この「納税の義務」は「勤労の義務」「教育の義務」と並んで、国民の三大義務の一つとされています。

納税のしくみ

○申告納税制度

納税者自ら税額を計算し、それに基づいて申告・納税する制度
(個人の住民税、法人の住民税、特別土地保有税、たばこ税、入湯税)

※もし正しい申告・納税をしなかったら

申告をしていないことや申告内容に誤りがあることがわかったら、調査をして正しい金額の税金を納めてもらいます。

○賦課課税制度

県や市町村の税務担当課が納付すべき税金の額を決定する制度
(個人の住民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税)

○源泉徴収制度

納税者が自分で申告し納税する代わりに、特定の所得の支払者が源泉徴収義務者となって、その所得を支払う際に税金を天引きして納付する制度



令和4年度償却資産の申告について

毎年1月1日現在における自己所有の償却資産について、1月31日まで、償却資産の所在地の市町村長に申告しなければならないものとされています。

令和4年度の償却資産申告書を送付しておりますので、必要事項を記入し、押印のうえ必ず当村税務課まで直接または郵送にて提出してください。(事業所等を廃止した場合もその旨を記載し提出が必要です)

なお、eLTAX(地方税ポータルシステム)での電子申告も可能ですので、ぜひご活用ください。

問い合わせ 税務課 ☎ 23-3114

喜多方税務署申告書作成会場について

○開設場所 喜多方税務署(喜多方市字花園38)

○開設期間 令和4年2月8日(火)～3月15日(火) ※土、日、祝日等を除く

○開設時間 午前9時～午後5時

※会場開設前は、申告書作成会場を設置しておりませんので、会場開設期間中にお越しください。

○申告書作成会場への入場について

混雑緩和のため、会場への入場には「入場整理券」が必要です。入場整理券は、当日配布とLINEによる事前発行があります。

※配布方法の詳細は、別途国税庁ホームページ等によりお知らせします。

※入場整理券の配布状況に応じて、後日の来場をお願いすることもあります。

○問い合わせ

喜多方税務署 ☎ 0241-24-5050 (音声ガイダンスに従い、「2番」をお選びください。)

子育て世帯への臨時特別給付金について

新型コロナウイルス感染症による影響を受けている子育て世帯を支援するため、給付金を支給します。

- 支給金額 対象児童1人あたり10万円 ※令和3年度中に合計10万円を支給
- 対象児童 0歳～18歳の児童(平成15年4月2日～令和4年3月31日生まれの子)
- 支給対象者
対象児童を養育している方(父母等)で、令和3年度所得額が表の「**所得制限限度額**」未満の方

支給限度額

所得税法における 扶養親族等の人数	所得制限限度額 (万円)	収入額の目安 (万円)
0人	622	833.3
1人	660	875.6
2人	698	917.8
3人	736	960
4人	774	1,002
5人	812	1,040



※児童手当の支給要件と同様の限度額です。養育する方(父母等)で収入が多い方の所得で判定します。
※本給付金は、令和3年9月分児童手当を受給してる方は支給を受けた市町村、それ以外の方は令和3年9月30日時点において住民登録のある市町村から支給します。

申請方法

〈申請不要な方〉

- 令和3年9月分児童手当の支給を村から受けている方(公務員の方を除く)
申請不要です。村から対象世帯へ給付金に関するお知らせ等を発送しています。
(令和3年12月に5万円、令和4年1月に5万円、合わせて10万円を支給します。)

〈申請必要な方〉

- 高校生等(平成15年4月2日～平成18年4月1日生)の対象児童のみを養育している方
- 令和3年9月分児童手当の支給を勤務先から受けている方(公務員の方)等
対象見込み世帯については、申請書等を送付しましたので支給要件を確認のうえ申請ください。
その他、給付金の該当見込みの方がいましたら、住民課まで問い合わせください。
※今後出生予定の児童(令和4年3月31日までに生まれた子)についても申請が必要ですので、出生届提出後にご案内します。

申請期限 令和4年3月31日まで

問い合わせ 住民課医療福祉班 ☎ 23-3113

“ごみ問題”を考える vol.5「福島県環境アプリ」について

令和3年4月から運用が始まった「福島県環境アプリ」のダウンロードはお済みですか？
このアプリは、福島県が地球温暖化対策の一環として、「ごみ減量化」や「省エネ」の推進を目的に制作したものです。2022年、アプリをダウンロードして気軽にエコ活動を始めてみませんか。

福島県環境アプリの暮らしに役立つ、地球に優しい“4つの機能”をご紹介します。

1 ごみの収集カレンダー

ごみ収集日が市町村の地区ごとにわかるようになっており、通知機能が付いているので、ごみの出し忘れが防止できます。

また、“ごみの分別辞典”では、村のルールに沿ったごみの分別情報を検索できます。

2 みんなのエコアクション

県内在住の方々が投稿した“エコな取り組み”を見ることができます。真似してみたい取り組みが見つかるかもしれません。もちろん自分も投稿が出来ます。

3 日々の暮らしにエコアクション

“食べ残しゼロを実践した”など、エコアクションを実践することでポイントがもらえ、貯めることができます。

4 景品に応募

貯まったポイントで景品に応募でき、抽選で福島県産品やエコグッズなどが当たります。



※画像はイメージです。

第13回裏磐梯雪まつり

裏磐梯の冬の風物詩「第13回裏磐梯雪まつり2022」は2月19日(土)、裏磐梯サイトステーション、レンゲ沼で開催されます。

メインイベントの裏磐梯ナイトファンタジーでは、結氷したレンゲ沼に3,000本のキャンドルが灯り、澄んだ夜空を彩る花火が打ち上がります。また、雪のすべり台や各種屋台などもございます。

ぜひ、ご来場ください。

○日時：2022年2月19日(土)
10:00～20:00 (※ナイトファンタジーは17:30～)

○会場：裏磐梯サイトステーション・レンゲ沼

※新型コロナウイルスの状況によっては中止または内容の変更の可能性があります。

【ボランティア大募集】

事前の会場準備やイベント当日のキャンドル設置・点灯などをお手伝いいただけるボランティアスタッフを募集しています。詳しくは実行委員会までお問合せください。

問い合わせ 裏磐梯雪まつり実行委員会(裏磐梯観光協会) ☎ 32-2349



家庭教育支援事業

12月2日(木)に裏磐梯小学校で保護者の方を対象に家庭教育支援事業が行われました。講師に会津教育事務所から菅家篤先生をお招きし、「人は何のために生まれてきたか～幸せ気分でするしつけ～」という題で、ご講演いただきました。



ご自身のご経験や、様々な事例、音楽などを交えながら、忙しい毎日の中で心に余裕をもって子育てに向き合うための心構えを教えてくださいました。

始終アットホームな雰囲気です。参加した保護者の方からは講演後のアンケートを通して、「楽しい講座で聞き入ってしまった」「貴重な話を聞くことができた。また菅家先生の話聞いてみたい」などの感想をいただきました。

12月9日(木)に裏磐梯中学校で家庭教育支援事業が行われました。当日は1～3年生の生徒とその保護者が参加し、竹田総合病院こころの医療センターより、精神科医師の泉太先生にお越しいただき、思春期におけるストレスの原因とその対処法についてお話していただきました。

思春期の悩みについて、医学的な視点からの解説や対処法などを泉先生自身の体験談なども交えながら具体的に説明をしていただき、生徒も保護者も時折頷いたり、考え込むような姿勢を見せるなど、泉先生の話に真剣に耳を傾けていたようでした。



子ども体験活動事業

12月4日(土)に村保健センターで「親子クッキング!」が行われました。講師に、にっぼんの台所代表の石山静香氏をお招きし、クリスマスにちなんで米粉を使ったクリスマスケーキを作りました。当日は村内各小学校の親子8組が参加し、コロナウイルス感染症対策としてそれぞれの親子ごとにわかれて調理を行いました。



石山先生にケーキを作る際のコツなどを実演を交えながらアドバイスしていただき、ケーキを焼いている間は簡単に作ることができるクリスマスツリーサラダも教えてもらいました。



参加された保護者の方は「なかなか家で子どもとケーキを作ろうと思って難しい。こんなに簡単に楽しくできるなら家でも作ってみたいと思う」と声を弾ませて話してくださいました。

12月24日(金)にもくもく自然塾内のクライミングジムハレロックでボルダリング体験教室を行いました。



手指消毒や検温など、コロナウイルス感染症対策を行いながらの実施となりました。当日は、もくもく自然塾代表の渡邊亮さん指導の下、入念に準備体操やストレッチを行い、各自目標のマークを決めて自分なりのルートを考え、ボルダリングを楽し

みました。

カラフルなホールドがついたクライミングウォールは一見楽しくチャレンジできそうですが…実際にやってみるとなかなか難しい!何回も諦めずにチャレンジする姿が見られました。

学年や学校間の交流も図られ、子どもたちは休憩時間を忘れるほど夢中になり楽しんでいました。



今後の公民館関連事業のお知らせ

※予定が変更となる恐れがありますので、ご了承願います。

①少年少女スキー教室

日時：1月22日(土)

場所：裏磐梯スキー場



生涯学習だより

『柏木城跡』の国史跡指定が答申されました

北塩原村・北塩原村教育委員会は、平成20年度から「柏木城跡」の調査を実施してきました。調査の結果、戦国時代末期、会津蘆名氏の防衛拠点として伊達政宗の会津侵攻に備えるために築城された城跡であり、当時の築城技術や領国防御の考え方を知るうえで貴重な遺跡であることが判明しました。

北塩原村は、「柏木城跡」をより良い状態で保存・活用し、郷土の歴史資産として学び伝えていくことが大切と考え、国の宝:国指定史跡を目指そうと文化庁や福島県教育委員会と協議を重ねました。今年度は地元地権者の方々の同意をいただけた範囲について、令和3年8月、国に対して「柏木城跡」の国史跡指定について意見具申をおこないました。

これを受けて令和3年12月17日に開催された国文化審議会では、「蘆名氏、伊達氏といった戦国期における南東北の二大勢力の抗争を具体的に示すとともに、当時の築城技術や防衛思想などを知る上で重要」として、「柏木城跡」を国史跡に指定するよう文部科学大臣に答申がありました。

今後は国による官報告示を経て正式に国指定史跡となります。指定されると国指定文化財としては天然記念物雄国沼湿原植物群落に続き2例目、国史跡としては北塩原村初の指定となります。

答申に至るまで、地権者の方々、地元のみなさまをはじめ有識者の方々などのほか、大勢の関係者の方々にご理解とご協力をいただきました。ここにあらためて深く御礼申し上げます。

今回、指定の答申を受けた柏木城跡の範囲は全体の一部です。残されている範囲については、追加での指定を目指していきたいと考えておりますので、今後とも引き続き地権者様、地元のみなさまのご理解とご協力をお願いいたします。



▲発掘調査の様子(平成26年)



▲現地説明会の様子(平成28年)



▲体験発掘の様子(平成29年)

あなたの健康知識はどのくらい?? ふくしま健民検定に挑戦しましょう!

福島県民の健康づくりに関する知識や理解度を測る「ふくしま健民検定」を実施します。
合格者の中から抽選で素敵なプレゼントが当たります!

実施期間 1月19日(水)~2月27日(日)

合格基準 正答率 70%以上
合格者には認定証として「ふくしま健民カード(特別版)」をお送りします。

参加料 無料

参加方法 次のいずれかの方法を選択できます

- ふくしま健民検定事務局へご連絡の上、問題用紙を入手又ウェブサイトから問題用紙をダウンロードし、解答したものを事務局へ郵送する。
- ウェブサイトの検定フォーム上で回答する。
- 令和4年1月22日(土)折込の福島民報・福島民友に掲載の解答用紙へ記入し、事務局に郵送する。

問い合わせ ふくしま健民検定事務局
☎ 024-927-0021 平日 10:00 ~ 17:00
ホームページ: <https://kenkou-fukushima.jp/kentei>



~ふくしま健民検定クイズのお知らせ~

ふくしま健民検定のホームページやふくしま健民アプリなどでクイズが出題されています。
ふくしま健民検定の予習にチャレンジしてみましょう!
今回は健民検定クイズの問題の一部を紹介します!

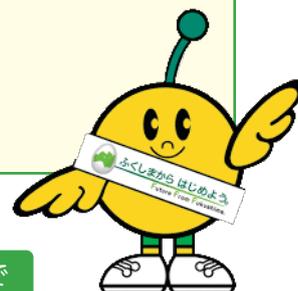
問題: 福島県でメタボリックシンドローム(メタボ)に該当した方の割合は都道府県別にみて何番目?

- ① ワースト 24 位(おおよそ全国の平均) ② ワースト 10 位 ③ ワースト 4 位

問題: 福島県の平均寿命は(平成 27 年)は全国平均に比べて長い?短い?

- ① 男女とも長い ② 男女とも短い ③ 男女ともほぼ同じ

※答えはふくしま健民検定ホームページより確認できます。



ふくしま健民カード(北塩原村健康ポイント事業)は令和4年3月1日まで

南東北裏磐梯診療所からのお知らせ

2022年 年頭のご挨拶



あけましておめでとうございます。今年も何卒よろしく申し上げます。

昨年は村民の皆様へ新型コロナワクチンの接種を行い、村での感染者数は極少数で推移し、まずまずの成果であったと思っています。関係者各位に感謝申し上げます。

今年も第3回目の予防接種が予定されています。感染予防対策として接種を受けることを勧めます。

本村も高齢化が進んでいます。高齢者の皆様へ健やかな生活を送れるようにと、昨年11月には脂質異常症のお話をしました。その要旨は脂質異常症を是正し、動脈硬化の進展を防ぐということです。「ヒトは血管とともに老いる」という格言があります。則ち動脈硬化の予防が大事であることを示唆しているものです。適切な体重維持、運動の習慣、食べ過ぎない、脂質を摂りすぎない、食物繊維の積極的な摂取、禁煙などで動脈硬化の予防が期待できます。健やかな生活を送るためにもこのような生活習慣の確立が重要です。

日本人の死因の1位は「がん」です。長寿には「がん」対策が最重要です。早期発見・早期治療が肝要です。高齢者の方は年1回の健診を受けることが必要です。診療所でそのお手伝いをいたします。

今年も新型コロナウイルスが制圧され、生活が以前のように回復し、皆様が安心・安全に生活できるようになることを祈念しながら新年のご挨拶とさせていただきます。

南東北裏磐梯・椛原診療所 荒川 真之



〇問い合わせ 南東北裏磐梯診療所 ☎32-2009



おかずにも、おもてなしにもgood! ポテトまんじゅうチリソースあんかけ



ポテトサラダを丸めて片栗粉をまぶし揚げて美味しく代用できますよ



秋元の渡部由美子さん

ポテトまんじゅうチリソースあんかけ

今回は秋元の渡部由美子さんのおもてなし料理にもなる、簡単で美味しいレシピをご紹介します。

作り方

- ①じゃがいもをゆでる。(レンジでチンしても良い)
- ②①をつぶす。
- ③②に枝豆、とうもろこし、かにかまを入れ、塩、こしょう、マヨネーズを入れて混ぜる。
- ④団子状にし片栗粉をまぶす。
- ⑤油であげる。
- ⑥チリソースに砂糖(お好みで)を入れて火にかけ、水とき片栗粉を入れてとろみを出す。
- ⑦揚げたポテトまんじゅうに⑥のチリソースあんをかける。
- ⑧三つ葉をのせて出来上がり。

材料(作りやすい分量)

- ・じゃがいも(中) …………… 2個
- ・枝豆 …………… 適量
- ・とうもろこし(冷凍) …………… 適量
- ・かにかま(アラスカなど) …………… 適量
- ・塩・こしょう …………… 少々
- ・マヨネーズ …………… 少々
- ・片栗粉 …………… 適量
- ・油 …………… 適量
- ・チリソース(市販品) …………… 適量
- ・砂糖 …………… 少々

お知らせ・募集

県立テクノアカデミー会津 個別進路相談会

入学を考える方や、会津地域で就職を希望している方を対象に、個別の進路相談会を開催します。事前申請は不要ですので、気軽にご参加ください。

- 日時
 - ①1月23日(日) 午前10時～午後1時
 - ②2月27日(日) 午前10時～午後1時
- 場所
県立テクノアカデミー会津(喜多方市塩川町御殿場4丁目16番地)
- 対象
高校生(学年問わず)と保護者
- お問い合わせ
県立テクノアカデミー会津
☎0241(27)3221

県立テクノアカデミー
会津ホームページ
QRコード



会津学生寮の入寮者募集

会津学生寮では、東京近郊の4年制の大学に就学する学生を対象に入寮生を募集します。

- 会津学生寮の所在地
東京都文京区千石1-4-16 (JRR山手線巣鴨駅下車)
- 応募資格
次のすべてに該当する男子生徒
- ・現在会津に居住しているか、または保護者が会津出身であること。
- ・東京都やその近郊の大学(原則として4年制)に入寮する者、または第2学年に進級する在学生。
- ・心身ともに健康で共同生活ができる者
- 募集人数
12名
- 費用
入寮金7万円、月額寮費4万7千円(個室)、月々土まで朝夕食付)
- 申し込み方法
村教育委員会・会津管内県立高校に備え付けの入寮願用紙に必要事項を記入し、会津学生寮宛に申し込む。その際、大学の合格通知書(受験票でも可)の写しと出身高校で交付する調査書を同封する(要)。
- 申込期間
1月7日(金)～

今月の予定

- 【納税】
- ・固定資産税 (4期分)
 - ・国民健康保険税 (6期分)
 - ・介護保険料 (6期分)
 - ・後期高齢者医療保険料 (6期分)
 - ・住宅使用料 (1月分)
 - ・上下水道料金 (12月分)
- 村税等の納入は、簡単・便利で確実な口座振替をご利用ください!!

【行政相談】

行政相談では、国・県市町村・特殊法人などの仕事に関する苦情や意見、要望を受け付け、解決のお手伝いをします。

- 月日 1月25日(火)
- 時間 午前9時30分～午前11時30分
- 場所
松原出張所(松原)
- 行政相談委員
高橋 光秋
- お問い合わせ
総務企画課
☎(23)3111

休日当番医

1月16日(日)	医療生協きたかた診療所	☎23-3611
1月23日(日)	喜多方市地域・家庭医療センター	☎24-5320
1月30日(日)	君島内科消化器科クリニック	☎24-5800
2月 6日(日)	くまたクリニック	☎28-1233
2月11日(金)	高橋小児クリニック	☎25-7066

第二次救急当番医

第2次救急当番医は、休日・夜間に入院治療を必要とする重症患者の救急医療体制です。

1月16日(日)	佐原病院	☎22-5321
1月23日(日)	有隣病院	☎24-5021
1月30日(日)	佐原病院	☎22-5321
2月 6日(日)	有隣病院	☎24-5021
2月11日(金)	会津医療センター	☎0242-75-2100

戸籍の窓口

令和4年1月1日現在の人口

- 男1,300人 ●女1,291人
- 計2,591人(前月比▲12)(外国人含む)
- 転入2 ●転出9
- 出生1 ●死亡6
- 世帯数 1,094(前月比▲1)

お誕生おめでとう!

五十嵐 乃亜(女・竜哉)大久保

ご結婚おめでとう!

星 智也(会津若松)
吉田 成美(金山)

お悔やみ申し上げます

小川 静雄(86歳)(一・父)樟
千葉 キエ(96歳)(新吾・母)谷地
藤 斯工子(85歳)(克明・母)剣ヶ峯
大 實(88歳)(文夫・父)上川前
穴 澤 実(82歳)(崇・母)大塩下区
小 利幸(54歳)(敏樹・父)下吉



2月4日(金)

○留意点

合格前でも申込期間内に申し込んでください。

○面接場所

会津若松市生涯学習総合センター「會津稽古堂」

○問い合わせ

会津学生寮

☎03(59947)0325

後期高齢者「医療費のお知らせ」

福島県後期高齢者医療広域連合では、被保険者の皆様に自己の健康管理と医療に対する関心を高めていただくために、毎年1回「医療費のお知らせ」を送付しています。

令和3年1月から12月までの「医療費のお知らせ」を、令和4年2月下旬より順次発送しますので、到着しましたら、ご自分の受診状況等について確認をお願いします。

なお、対象期間内に医療機関への受診がなかった場合は、通知は発行されません。

「医療費のお知らせ」について

は、県内全域に順次発送する関係上、個別の発送には応じられません。確定申告を急がれる場合は、領収書により申告手続きをお願いいたします。また「医療費のお知らせ」を確定申告

の参考資料として使用する場合において、「自己負担相当額」と実際に負担した額が異なるときは、補填された金額(高額療養費等)を差し引くなど、ご自身で訂正し、申告してください。

○問い合わせ

福島県後期高齢者医療広域連合

☎024(526)9025

村内の空間放射線量の測定値について(令和3年12月)

地区別	北山地区 (役場本庁前)	大塩地区 (活性化センター前)	桧原地区 (桧原出張所前)	裏磐梯地区 (裏磐梯台庁前)
測定日				
12月17日	0.052	調整中 (未観測)	0.042	0.054
12月 3日	0.047	調整中 (未観測)	0.030	0.045

※大塩地区:観測再開12月20日 0.052 【住民課生活班】電話(23)3113

学校別	さくら 幼稚園	裏磐梯 幼稚園	さくら 小学校	裏磐梯 小学校	第一 中学校	裏磐梯 中学校
測定日						
12月17日	0.055	0.046	0.082	0.064	0.081	0.079
12月 3日	0.053	0.030	0.083	0.042	0.081	0.048

【教育委員会教育班】電話(23)5237

※測定方法:リアルタイム線量システム

※単 位:マイクロシーベルト

●福島県放射能測定マップ(県ホームページ)で詳細なデータを確認することができます。
[福島県放射能測定マップ](https://fukushima-radioactivity.jp/pc/) で検索 <https://fukushima-radioactivity.jp/pc/>



文芸のひろば

北塩原短歌会

初雪が 十一月に どうか雪が どっさり降り 樹木倒され 松原 佐々木 キミ子

敷き詰めし 銀杏落葉に 大の字に 年に一度の 黄金の布団 北山 武藤 敏子

もう師走 思いの半分 まだ半ば 花々愛でて 心を癒やす 北山 佐藤 裕子

初雪を 踏みしめ歩く 朝の道 轍の上を モデル歩きに 大塩 鈴木 みち子

来る年も 幸多かれと 願ひ込め 友と作りし 感謝のしめ縄 大塩 鈴木 タケ子

裸木に 初雪積もり 雪の花 淋しい木々が 鮮やかに見ゆ 大塩 五十嵐 良子

友ありて 可憐な鉢植え 譲り受け ラインで送る 花満開だよ 大塩 高橋 みす江

年賀状 送りし節に 去年より 喪中の葉書 多くなりし 大塩 赤城 セイ子

早ばやと 冬將軍の 到来に 思いめぐらす 深々と降る雪に 大塩 高橋 郁子

確実に 来ると知りつつ 初雪に 覚悟の足りず 右往左往す 下川前 赤城 弘美

白百合俳句会

良薬と言ひて七草粥を炊く 中川 幸恵

飯豊嶺に光満ちたる年新た 鈴木 隆一郎

双六のこたつ囲める茶の間かな 武藤 敏子

初明り しづかに薬 飲みにけり 佐藤 信子

～ 実験で火山をより感じる ～

地域おこし協力隊の金です。皆さんは地元の学校で、火山に関する防災学習が継続的に行われていることをご存じでしょうか。先日、猪苗代高校と裏磐梯中学校で行われた磐梯山噴火記念館の佐藤館長による火山の授業に同行してきました。そこでは、実験などを通し磐梯山のような成層火山の成り立ちや噴火によって発生する災害予測について学んでいました。特に水槽を使った実験では、『実際に噴火した時どのように噴煙が上がるのか』、『火砕流がどのくらいのスピードで斜面を駆け抜けていくのか』を体感していました。この臨場感ある実験を動画でお見せできないのが大変残念ですが、生徒たちはもちろんのこと、授業と一緒に参加していた先生や私も見入ってしまうほどでした。

火山は一度噴火すると膨大な威力で爆発し、甚大な被害を起こす可能性があります。最近では、福徳岡ノ場の海底火山噴火により大量に流出した軽石のニュースなどもありましたが、地震や台風などに比べると実際に発生する頻度が少ないので、常に防災意識をもって生活する事は難しいと思います。それを実験という形で、噴火現象を疑似体験する事によって火山をもっと身近に感じる事ができるのです。

活火山である磐梯山の麓に住む私たちは、この山が再び噴火する可能性があるという意識を持ち、子供の頃から正しく学ぶ必要があると考えています。磐梯山ジオパークでは、こういった火山の防災授業も活動の柱となっています。

たった130数年前に地形を一変させるほどの大噴火が発生していること、この噴火により多くの犠牲者を出し、多くの人生を激変させていること、膨大な労力によって豊かな緑が蘇っていること、国立公園として70年以上の歩みがあること、ここ磐梯山ジオパークエリアには未来に残したい宝があることを、皆さんと一緒に紡いでいきたいと思っています。



▲実際に火山を作ってみる実験



▲自分たちで作った火山を噴火させる実験



▲水槽を使って噴煙と火砕流を体験する実験

自然つらら

裏磐梯ビジターセンター通信

裏磐梯ビジターセンター ☎32-2850

“フィールドサインを探して見よう”

雪の上に点々と残された動物の足跡をみつけると、寒いなかでも元気な動物たちの様子が目に浮かんで嬉しくなりますね。

野生動物が残した足跡やフン、食痕(動物が餌を食べた痕跡)などを「フィールドサイン」と呼びます。一直線に伸びるホンDIGツネの足跡(写真左)やY字型のニホンウサギの足跡(写真右)など、特徴的なサインから探してみると良いでしょう。

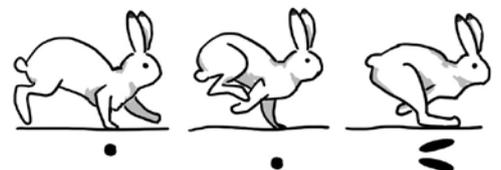
気になる動物の足跡をみつけたら、写真を撮って、裏磐梯ビジターセンター館内の図鑑やスタッフに質問して調べてみましょう。

冬期も開館しておりますので、ぜひお立ち寄りください。

【1/17(月)～1/21(金)は年末年始の振替休館となります】



▲ホンDIGツネの足跡



▲ニホンウサギの足跡

